

## 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	血液を用いたアレルゲン免疫療法薬の力価の測定 (日本赤十字社血液のアレルゲン免疫療法薬開発における利用)
研究期間	平成 28 年 4 月 ~ 平成 32 年 3 月
研究機関名	鳥居薬品株式会社
研究責任者職氏名	副研究所長 渡部良広

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

### 研究の説明

#### 1 研究の目的・意義

本研究は、本邦健常者の献血血液を用いて、本邦在住者に多く見られる日本スギ花粉蛋白質（アレルゲン）に反応する IgE を含有する血液等を活用するものです。具体的には、スギ花粉アレルゲン等に対する IgE 抗体価を有する血液を用いてスギ花粉等アレルゲンの免疫測定法を作製し、アレルゲン免疫療法薬の研究開発に使用します。

この研究開発は、国民病と言われるスギ花粉症の軽減に資する医薬品開発を通して、日本国民の健康増進に寄与するものと考えます。

#### 2 方法《献血血液の使用方法含む》

スギ花粉症症状の有無にかかわらず、本邦健常者はある頻度でスギ花粉アレルゲンへの抗体を有しております。従って頂いた献血血液において、量の高低はあるもののスギ花粉アレルゲン反応性 IgE 抗体を有します。このスギ花粉アレルゲン反応性 IgE 抗体の量および質を調査し、複数の血液を用いて本邦の平均的なスギ花粉アレルゲン反応性を有するプール血液を作製し、これを現行および次代のスギ花粉アレルゲン免疫療法薬の研究開発のために使用します。また研究用血液の有効活用の観点から、弊社が提供しているスギ花粉以外のアレルゲン類への IgE 抗体反応性を確認し、他のアレルゲンの免疫測定用血液として使用すると共に、残余血液の一部は IgE 抗体陰性の対照血液として使用します。

#### 3 予測される研究の成果等

新規のアレルゲン免疫療法薬の研究開発等に使用され、本邦スギ花粉症既往の平均的な患者様における効果を予測する一つの指標が得られると期待されます

受付番号 29J0001

### 本研究に関する問い合わせ先

所属	鳥居薬品株式会社 研究所 研究企画
担当者	渡部良広、水戸部祐子
電話	043-485-5981
Mail	yoshihiro.watanabe@torii.co.jp; yuko.mitobe@torii.co.jp;

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。